

整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2021 -124	2021/7/21	APL 67 Sails Away From Pascagoula	APL67が、パスカゴーラから出航	NAVSEA News 2021/7/21	 米海軍のホテルバージは、1隻40億円と安くはありませんが、乗員、特に給養員が不足している海自では、このような解決策もあるのではと料します。なお、横須賀にあるAPL40は、改造工事を経てホテルバージとなったようです。	川原 梅三郎
2021 -126	2021/8/8	Sail-powered Drone Pitched as High-endurance Submarine Hunter	風力による無人艇(セイルドローン)を航続距離の長い対潜ハンターとして起用する	USNI News 2021/8/8	 アイデアとしては昔からあるものです。最新のエンジニアリングでどこまで可能かが興味のあるところです。	岩崎洋一
2021 -127	2021/8/9	Large Scale Exercise 2021 Tests How Navy, Marines Could Fight a Future Global Battle	大規模演習 2021 は米海軍・海兵隊のグローバルな戦闘のやり方を検証する	USNI News 2021/8/9	 今回の大規模演習 2021 (2021.8.4~2021.8.16) の参加範囲は、米艦隊総軍、太平洋艦隊、海軍部隊欧州、第 2、3、4、6、7、10 艦隊(サイバー艦隊)、第 1、2、3 海兵遠征軍に加え、8 個艦隊海上作戦センター、3 個海兵遠征軍戦闘作戦センター、5 個空母打撃群およびスタッフ、4 個両用即応群およびスタッフ、24 個任務部隊およびスタッフ、さらに 25 隻以上の港湾内および航行中戦闘艦で構成されています。参加艦の巡洋艦「サン・ジャシント」艦上からの記事です。	岩崎洋一
2021 -128	2021/8/10	U.S. 3rd Fleet Shifts Command Hub to Hawaii as Vinson CSG, Air Wing Join Global Large-Scale Exercises	ビンソン空母打撃群とその航空団が大規模広域演習に参加する中で、米第 3 艦隊は司令部拠点をハワイに移す	USNI News 2021/8/10	 LSE 2021 (8.4~8.17) に参加する第 3 艦隊司令部(サンディエゴ)がハワイに臨時司令部を開設した、という話と、最新の F-35C と CMV-22 を搭載したカール・ビンソン空母打撃群がハワイで本演習の一環として長射程海上打撃訓練に参加するという記事です。また海軍部隊は、米国防総省が命じインド太平洋軍が統裁する「Global LSE 2021」(8.2~8.27)にも参加するという事です。本記事では参加は米軍だけとなっていますが、今朝の産経新聞では日米英豪とありました。	岩崎洋一
2021 -129	2021/8/12	Global exercise to test US Navy's live, virtual and constructive training environment	大規模演習 2021 は海軍のライブ、バーチャル、コンストラクティブな訓練環境の初めての大規模なテストとなる	Defense News 2021/8/12	 大規模演習 2021 のキーワードは LVC(Live, Virtual, Constructive)ということらしいです。	岩崎洋一
2021 -130	2021/8/13	Norfolk Naval Shipyard uses ROV for underwater inspections	ノーフォーク海軍工廠で水中部の検査にROVを使用する。	Marinelog 2021/8/13	 シーチェストの検査に市販ROVを使用し、効果を確認したとの記事です。玩具のようなROVで船底調査の一部が出来るとは、時代も進んだと感じます。	川原梅三郎
2021 -131	2021/8/1	Change the Surface Navy's Maintenance Philosophy	水上艦の整備思想を変える	Proceedings.vol.1 47/8/1,422 2021/8/1	 米海軍の艦船造修上の大問題、すなわち発見工事の増大による工期の大幅延長、を解決するため海軍やNAVSEA は四苦八苦していますが、その目標(整備思想)が「時間どおりに、予算どおりに」というモットーを使っているため、「発見しても次回に延ばす」、「発見の努力をしない」、といった逆の弊害が出ていて、初期型のイージス駆逐艦の艦齢延伸に大きな足かせとなっている、という現場艦長からの悲痛な訴えです。 なお、文中によく出てくる SRA (Selected Restricted Availability) とは、入渠を伴わない検査修理整備工事のことで、1.5 年~2 年ごとに 1 回実施されるCNO指定の工事で、平均総工数はおよそ 6,000 人日です。入渠を伴う SRA は DSRA と呼ばれ、こちらは 8 年~10 年に一度実施される大規模な検査修理整備工事で、平均総工数は 12,000~20,000 人日です。 (根拠: <a href="https://www.rand.org/content/dam/rand/pubs/technical_reports/2006/RAND_TR358.pdf">https://www.rand.org/content/dam/rand/pubs/technical_reports/2006/RAND_TR358.pdf</a> 11p)	岩崎洋一
2021 -133	2021/8/13	Navy Issues Multiple Contracts Worth Up to \$2.76B for East Coast Littoral Combat Ship Maintenance	東海岸に配備したLCSの維持整備に最大27億6千万ドルの重複契約を行うと海軍が発表	USNI News 2021/8/13	 LCSの維持整備について、当初業者中心整備を目指していた海軍は乗員中心整備に方向転換しました。その中で業者に対して工期や数量を確定せず、単発工事を随時発注し、その都度契約額を増額させる「納期数量不確定型重複金額契約」を新たに適用するというニュースです。簡単に乗員中心整備といっても人員スキル共に不足する現状では難しいようです。 関連記事:NO.2021-74	佐々木 司

整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2021 -134	2021/8/19	DSME and HHIC Join Forces On Korea's Aircraft Carrier Project	韓国の空母プロジェクトでDSMEとHHICが協力	Naval News 2021/8/19	 大宇造船海洋と韓進重工業が韓国軽空母受注を目指して協力することになりました。これにより軽空母の受注合戦は現代重工業対大宇&韓進グループの対決となりました。それにしてもどこかで同じようなことが起きようとしている・・・他人ごとではありません。	佐々木 司
2021 -135	2021/8/23	USNI News Fleet and Marine Tracker: Aug 23, 2021 から抜粋	USNI ニュース艦隊・海兵隊トラッカー-2021年8月23日から抜粋	USNI news 2021/8/23	 沖縄南方で行われている演習(LSGE 21:大規模グローバル演習21)の様子です。	岩崎洋一
2021 -136	2017/8/14	The reasons HMS Queen Elizabeth has two islands	HMS クイーンエリザベスに2つのアイランドがある理由	NAVY Lookout Technical Briefing 2017/8/14	 航空母艦の艦橋アイランドの設計は、考慮事項が多く、大変複雑であることは、想像に難くないと思います。アイランドには、重要な装備品が搭載され、その配置は、航海、航空機運用に直結しますし、ましてやツインアイランドとなると、配置自由度が増して、答えを出すことは一層難しいと思われる。しかし、意外にもツインアイランドは、発電機スポンソンと一体化されるなど創意工夫されたアイランド自体の設計の奇与もあると思いますが、抗堪性、航空機運用、航海などに優位性があるとのこと。英海軍は、このツインアイランドが21世紀の航空母艦における、革新的技術の一つと自負しているようです。	本山泰之
2021 -137	2018/5/25	Supporting the Royal Navy at sea - the Tide class tankers	洋上で英海軍を支援する-Tide型給油船	NAVY Lookout 2018/5/25	 2018年の古い記事ですが、来日予定の英国空母遠征部隊に随伴している補給艦に関する記事です。1番艦の建造時には不具合もあり納期遅延を起しましたが、空母遠征部隊に随伴する補給艦としてよく考慮された設計となっています。特に広範囲の速度域で燃料効率向上を狙ったCODLAD推進システム、応急時に操艦・推進能力を確保するためのリフラクタブルポッド・バウスラスト装置の採用、空母への燃料給油効率向上を狙ったツイン給油ブローブ管、2箇所ステーションへ装備、同時給油機能がある。注目すべき艦船と思われます。	清水 隆
2021 -138	2021/8/25	Collision between US Navy Destroyer Fitzgerald and Philippine-Flag Containership ACX Crystal	米海軍駆逐艦Fitzgeraldとフィリピン船籍コンテナ船ACX Crystalとの衝突	SAFER SEAS Digest 2020, Lessons Learned from Marine Accident Investigations, NTSB, p.16-p.19..	 米国国家運輸安全委員会(NTSB)が発行したSAFER SEAS Digest 2020に記載されている2017.6.17に発生した米駆逐艦Fitzgeraldとコンテナ船ACX Crystalとの衝突事故に関する調査報告の内容です。事故の主因は新米の女性当直士官の操艦不適切でした。	佐々木 司